

報道関係者各位

2025/10/28

マレーシアで 1000 トン規模の「Waste to Hydrogen」ごみ ZERO プロジェクト始動へ 東南アジア“ごみ ZERO プロジェクト”の新たな展開へ



廃棄物から水素へ、マレーシアで「ZERO WASTE」モデル推進 BIOTECHWORKS-H2 と HUALANG ENERGY との間で戦略的パートナーシップを締結

株式会社 BIOTECHWORKS-H2（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：西川明秀、以下「BIOTECHWORKS-H2」）は、マレーシアの再生可能エネルギー企業 HUALANG ENERGY SDN. BHD.（本社：クアラルンプール、代表取締役社長兼 CEO：Dato' Setia Dr. Joshua Peter Tan、以下「HUALANG」）と、**廃棄物から水素を生成する「Waste to Hydrogen」プロジェクト**に関する「戦略的パートナーシップ契約（Strategic Collaboration Agreement）」を締結しました。

両社はまず、マレーシア・Kedah 州において **1,000 トン／日規模の商用プラント計画**を開始します。

このプロジェクトは、マレーシア国内の廃棄物をエネルギーへと転換する**新たな産業モデルの創出**を目指すものです。



写真説明（26 日 クアラルンプール国際空港にて）
2025 年 10 月 26 日、クアラルンプール国際空港にて、株式会社 BIOTECHWORKS-H2 代表取締役 CEO 西川明秀（左）と HUALANG ENERGY SDN. BHD. CEO Dato' Setia Dr. Joshua Peter Tan（右）が「Waste to Hydrogen」プロジェクトに関する戦略的パートナーシップ契約を締結。

【廃棄物を“燃やさず”に資源化する”新しい挑戦】

マレーシアでは急速な都市化により、廃棄物処理施設の多くが限界を迎えています。

今回の計画は、従来の埋め立てや焼却ではなく**廃棄物を高純度の水素に変換**する点が特徴。

BIOTECHWORKS-H2 が持つ**廃棄物前処理・ガス化・水素生成技術**に、Hualang Energy の再生可能エネルギー開発実績と地域ネットワークを融合させ、「**ごみをエネルギーへ**」変える**次世代型都市モデル**を構築します。

【マレーシアから広がる、東南アジア循環型エネルギーの輪】

マレーシア政府は 2050 年カーボンニュートラルを国家目標に掲げ、廃棄物エネルギー化を重点施策に位置づけています。本プロジェクトは、地方自治体やインフラ企業と連携し、**複数都市での展開を見据えた第一歩**。発電や燃料供給など地域エネルギー網への供給も視野に入れ、**雇用創出・経済循環・地域自立のモデルケース**となることを目指します。

【BIOTECHWORKS-H2 CEO 西川明秀 コメント】

「マレーシアは東南アジアの中でも脱炭素への意識が高く、次のエネルギー社会を創る舞台として理想的です。私たちは“ごみ ZERO”を合言葉に、燃やさず・埋めずに資源化する技術で、地域が自らエネルギーを生み出す社会を実現します。」

【Hualang Energy CEO Dato' Setia Dr. Joshua Peter Tan コメント】

「BIOTECHWORKS-H2 との協業は、マレーシアの再生可能エネルギー政策に新たな可能性をもたらします。都市ごみを資源に変えるこの取り組みが、私たちの国に持続的な成長とクリーンな未来をもたらすと確信しています。」

【今後の展開】

本プロジェクトは、まず本年度中に Kedah 州でのフィージビリティスタディ（F/S）調査からスタートします。

廃棄物組成や発生量、インフラ条件、地域特性などを精査し、1,000 トン／日規模の商用プラント建設に向けた技術・経済性の検証を行います。F/S の結果を踏まえ、2026 年には基本設計（FEED）と事業スキームを策定し、2027 年以降に建設フェーズへと移行する計画です。

マレーシアでの展開は、インドネシアを中心とする東南アジア全体の「ごみ ZERO プロジェクト」拡大の一環であり、各国での地域特性を活かしたモデル構築を目的としています。

両社は、Kedah 州での成功事例をもとに、ASEAN 諸国の政府・企業・研究機関との連携を進め、地域ごとの循環型水素社会モデルを共創するプラットフォームの確立を目指します。



BIOTECHWORKS-H2®

株式会社 BIOTECHWORKS-H2

東京都渋谷区神宮前 6-18-3

神宮前エスビル 6 階

【BIOTECHWORKS-H2 について】

当社は「ごみ ZERO プロジェクト」として、「廃棄物から水素へ、水素から再生可能エネルギーへ」というミッションのもと、透明性の高いサーキュラーエコノミーの実現を目指しています。リサイクルができていない有機性廃棄物を独自の前処理最適化技術と IoT プラットフォームにより燃やさずにガス化し高純度水素を生成、その水素をさらに再エネルギーとして活用するカーボンニュートラルな世界を構築します。また、IoT と AI を活用したデジタルトレーサビリティシステム「REBORN」により、廃棄物処理からエネルギー利用までの全工程を可視化し、CSR 報告や Scope3 対応を可能にしています。

■ 会社概要

株式会社 BIOTECHWORKS-H2 (BIOTECHWORKS-H2 Co., Ltd.)

所在地：東京都渋谷区神宮前 6-18-3 神宮前董友ビル II 6 階

代表者：代表取締役 CEO 西川 明秀

設立：2023 年 7 月 5 日

事業内容：廃棄物から水素を生成し再生可能エネルギー化する技術開発およびライセンス事業

URL：<https://www.biotechworks.co.jp>

お問い合わせ：info@biotechworks.co.jp（広報担当：仁谷）

■ HUALANG ENERGY SDN. BHD.

本社所在地：クアラルンプール（マレーシア）

代表者：Dato' Setia Dr. Joshua Peter Tan

事業内容：太陽光・バイオマス・グリーンハイドロジェンなど再生可能エネルギー事業

URL：<https://hualangenergy.com>

■ 報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社 BIOTECHWORKS-H2 広報担当：仁谷（にたに）

E-mail：info@biotechworks.co.jp

TEL：03-5422-9702